

大阪市西部・南部地区合同

スキルアップめざし

スタッフむけ接遇講座開く

大阪市西部地区と南部地区合同の講習会「洗練された接遇・マナー（基礎編）」が11月8日、保険医会館で開かれ、スタッフら26人が、身だしな

みやあいさつ、言葉づかいなどのスキルアップを目指した。講師は接遇マナーインストラクターの西出知子氏が務めた。西出氏は、日本航空客室乗務員時代の経験・エピソードも交えながら、患者満足度を高めるための心得について説明。

「髪型などの身だしなみは、患者にとって分かりやすく絶対におろそかにできない。これにコミュニケーションスキルを加えることで患者の満足度を高めることができる」と強調した。あいさつや

電話対応、笑顔の表情訓練、尊敬語と謙譲語の使い分けなど、実践形式で行われた。また苦情については、相手の申し出を十分聞くこと、クレームに至ったこと自体に真摯に詫言、個人ではなく

の重要性が指摘された。参加者からは、「受付での対応のポイントが分かりやすく思っていた以上に勉強になった」「ロールプレイングで個別に批評して自分を見直すことができた」「顔の表情や声のトーンの大切さを

知った。自然な笑顔が出せるように努力したい」

など感想が寄せられ好評だった。

三島地区

歯科健診に長蛇の列

家族連れらが詰めかける

三島地区は11月8日、茨木社保協主催の平和と福祉をテーマにし

たフリーマーケットで、無料歯科健診を実施した。茨木市での健診は6年ぶり。宇賀神直也氏と歯科衛生士2人が出務した。

開始直後から家族連れなどが詰めかけ、ピーク時には20人が列をつくった。4時間ほどで79人が受診。「保険で良い歯科医療」を求める署名も100筆集まった。経済不況や社会保障切り捨てを背景に、患者が気軽に歯

科医院に通えない実態がうかがえた。宇賀神氏は「口腔状態がひどい人は数人で、むし歯が一本もない人が多かった。日ごろから丁寧

に手入れしているようだった」と感想を語った。親子で歯をチェックしてもらった女性は「時間もないし、お金もかかるから歯医者さんになかなか通えない。すぐ助かります」と喜んで

東大阪・八尾・柏原地区

健診旺盛に 月3回

八尾と東大阪で実施

東大阪・八尾・柏原地区は11月3日から11月29日にかけて3回の歯科健診を実施。のべ319人（子ども174人、大人145人）が受診した。出務は、中西幹夫氏、貴島正彦氏、貴島真佐子氏の3人の歯科医師と歯科衛

生士のべ8人と事務局。中西氏は、歯の悩みに丁寧に対応し治療の必要性を訴えた。受診者は歯科衛生士によるブラッシング指導を熱心に受けていた。この取り組みで「保険で良い歯科医療」を求める署名163筆が集まった。

・11月3日 八尾市民まつり、受診80人（子ども31人、大人49人）
・11月15日 東大阪市民まつり、受診179人（子ども118人、大人61人）
・11月29日 東大阪生協病院健康まつり、受診60人（子ども25人、大人35人）

わが街 わが地区



実践形式であいさつを学ぶ参加者＝11月8日、保険医会館



列をなし順番を待つ受診者＝11月8日、茨木市内



口腔内をチェックする中西氏＝11月3日、八尾市内

歯科医療と介護保険

④

小山 榮三（枚方市）

いま、日本は高齢社会に突入しており、一人暮らし、認知症、介護保険をうける人々は増えている。平均寿命（健康寿命）

（不健康寿命）は毎年増えているが、不健康寿命は平均7～8年ある。誰でもこの期間は不健康な状態で、誰かの世話・介

護を受けなければならぬ期間なのである。

要介護になる主な要因は、男性で脳血管障害と心疾患などの循環器疾患、高齢による衰弱など

で要介護状態になる比率が高くなっている。女性では関節疾患・認知症・骨折、高齢による衰弱な

どである。

介護度の判定は、要介護状態を調査員が調査し、コンピューターに入力され、介護にかかる手

間を数量化し、1次介護判定が出る仕組みになっている。ここには、要介護者をいかに軽度な介護・より健康にしてい

という視点がない。介護保険の約半数をしめる軽度要介護者（要介護1・2、介護保険1）への介護予防として、①筋力トレーニング②歯磨

き・義歯調整などの口腔ケア③栄養改善指導――が導入されているが、十分機能しているのか疑問である。

実態は介護保険制度の財政的な側面からこれが提起されており、要介護者をいかに健康にしてい

くかの観点には弱点がある。地域包括センターは、①介護予防のための情報提供を積極的にする②地域での高齢者の各種の取り組みを強化する――このことにもっと取り

組んで欲しいものである。

また、街角デイサービス事業の支援や総合福祉センターの増設・拡充が必要である。しかし、市町村は予算を切りつめて

いるので、この企画を積極的に推進するという立場に立ちきれていない。唾液、咀嚼など口腔の健康が全身の健康に果たす役割をもっと発揮するべきである。歯科医に

ことが要求されている。訪問診療は行われていても、その他については実

現していない。しかし、診療室で患者さんに、男性には減塩・たばこ・飲酒などのコントロール指導、女性には足腰を鍛えるスクワット健康法、骨粗鬆症の予防などを薦めて、要介護者をつくらな

い取り組みができると思っている。診療の傍らで指導はできるし、必要かと思っ

（つづく）

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

女性医師歯科医師の会
「今、真に豊かな社会をめざして――医療者の役割」
日時 12月12日（土）午後2時30分～4時30分
会場 保険医会館 会費 会員無料
講師 暉峻淑子氏（埼玉大学名誉教授）

税務対策講習会

「年末調整・決算準備のポイント」
日時 12月19日（土）午後3時～5時
会場 保険医会館 定員 50人
講師 城 英敏税理士
会費 会員・家族無料、未入会者1万円

北大阪・大阪市北部・三島合同地区セミナー
「強化される個別指導への対策と2010年診療報酬改定」
日時 12月19日（土）午後7時～9時
会場 新大阪丸ビル新館609号室（JR「新大阪」駅東口から徒歩2分） 定員 60人
講師 社保研究部講師団
会費 会員無料、未入会者1万円

東大阪・八尾・柏原地区講習会
「口腔粘膜疾患の診察にあたって――簡易診断マニュアルを提案」
日時 12月19日（土）午後6時30分～8時
会場 八尾市文化会館ブリズムホール会議室2（近鉄大阪線「八尾」駅東へ徒歩5分）
講師 占部一彦氏（八尾徳洲会総合病院歯科口腔外科部長） 定員 50人
会費 会員無料、未入会者1万円

南河内地区
「病院歯科の本音――よりよい病診連携確立のために」
日時 12月19日（土）午後6時30分～8時30分
会場 保険医会館 定員 50人
講師 北島信彦氏（ラポール会青山病院歯科口腔外科）
会費 会員無料、未入会者1万円

新春特別講演
「メタボリックシンドロームの合併症としての歯周病」
日時 2010年1月24日（日）午前10時～午後1時
会場 M&Dホール（保険医会館東隣り）
定員 100人
講師 西村英紀氏（広島大学大学院歯薬学総合研究科健康増進歯学教授）
会費 会員無料、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です

※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。